

平成30年度 自己評価報告書

学校法人桜丘学園 専門学校ファッションカレッジ桜丘

基準1. 教育理念・目的・人材育成

学園の基本理念は「夢の創造」・「文化の創造」を提供し続けるエクセレント・カレッジ（excellent college）を目指すことを標ぼうし、夢を創造し、文化を創造することが、ファッションを教授する服飾系高等教育機関の基本と考える。学園は他の服飾系専門学校と一線を画し、独自の価値観と行動様式を持ち、桜丘学園らしさ、固有性を積極的に持つことである。また、教育理念は「学生一人ひとりを大切にし、愛情をもってきめ細やかな指導で、専門知識・技能の習得および人間性豊かな人材を育成する」。この基本理念・教育理念は、事業計画策定時に全教職員に周知徹底され、月次の教職員全体会議や教員会議で再確認されている。人材教育に於いては、日々進歩する業界の情報を早期に取り入れる為、業界関係者を内部委員に起用し、情報の収集にあたりとともに、最新の機器の導入や外部の研修会に積極的に参加し、最新且つ実践的な能力を身につける様に努めている。また、年度毎に時代にあったカリキュラムに刷新し、外部講師と学園内教員と連携し、情報交換を図り、高度な教育が実践できる様に努めている。

基準2. 学校運営

学園の基本理念・教育理念に基づき、事業年度毎に事業計画を作成し、理事会、評議員会の承認のもと、教職員全体会議で全教職員に周知徹底され、計画的に実践されている。各事業は

学内プロジェクトとして、プロジェクト委員を任命し、校長、教務部長、事務部長を中心にプロジェクトリーダーが運営にあたる。カリキュラムの編成に関しては、校長、教務部長を中心に、学園内教員、外部講師と情報交換を行い問題点や改善点を抽出し適切に編成されている。学園組織は年度毎に見直し、実際の学園運営と組織体との整合性のチェックが行われている。各教職員の行動計画はインターネット上に公開し、効率よく機能的に運用できる様に管理されている。

基準3. 教育活動

カリキュラムに関しては、2年次より選択制カリキュラムを導入。技術系のファッションクリエイト科、流通系のファッションビジネス科のカリキュラムを横断的に選択できる様に設定。1つのカリキュラムをより深く学びたい学生のニーズや技術系から流通系、流通系から技術系と途中での進路変更に対応できるカリキュラム編成となっている。また、年々変化する業界状況を敏感にカリキュラムに反映する為、業界関係者との情報交換や各種業界団体の会合に参加し、常に最新の情報を収集する様に努めている。検定試験

は各科とも一般財団法人日本ファッション教育振興協会の2つの検定を学内必修検定として全学生に受験をさせている。検定に関しては全てのカリキュラムに関連するため外部講師とも検定対象範囲の情報交換をし、検定資格取得率の向上に努めている。

基準4．学修成果

1年に1回学年末に授業での成果物を「卒業・修了作品展」として展示し一般公開している。また、ショー形式で1年に2回、夏季と春季に製作作品を公共施設にて一般公開している。学期末の効果測定その他、課題を教職員、学生に向けてプレゼンテーションをする授業を多く取り入れ、論理的思考や表現力、説得力など学生個々の能力向上を検証している。各種検定に関しては、資格取得率の向上を目指し、学園内教員と外部講師が連携して取り組んでいるが、不合格者に関しては知識、技術の習熟度向上のため補習講義を行い不合格の内容の補完をしている。就職活動に関しては、1年次の後期から授業内でキャリア教育を実施。2年次では毎週キャリア教育を実施して、就労意識の醸成に努めている。また、1年次の学期末には、学内に企業を招聘し、企業情報、職種情報、働く事の意義などの講義をし、就職活動の事前準備に充てている。校外授業として実際の業界の企業を訪問し、働く現場を見学する事により、より具体的、現実的に就労の意識を持たせている。

基準5．学生支援

前期、後期の学期の初めに担任が全学生の個人面談を実施する。1年次は生活環境、学習状況、今後の目標などを聞取り、今後の学生指導に生かしている。1年次後期は2年次に向けての学習状況の指導や生活指導を中心に行っている。2年次は就職観や具体的な希望企業、職種など就職を意識した面談を実施。後期は卒業に向けた生活指導を行っている。退学防止策は、定期面談により問題点を早期に発見するとともに全教職員で不安定な学生の状況、情報を共有しフォロー体制をとっている。また、協調性やコミュニケーション能力を養うために、定期に行事を開催し、楽しく過ごせる学園内環境の整備に努めている。各学科とも担任制を採用し欠席、遅刻など学生個々の状況を時系列に細かに管理し、健康面においても保護者と連携して指導している。

基準6．教育環境

施設、設備は常にメンテナンスを怠らず清潔に保ち、学習機器も時代のニーズに合った機器に常に更新している。服飾系設計ソフト、アパレルCADを最新のクレアコンポⅡに更新し、またパターンマジックⅡ3Dを新たに導入することで、より実践に近い環境を整え能力向上を図っている。また、学内のインターネット通信環境を整え、学習情報の収集を容易にし、且つ学習のペーパーレス化に向けて環境を整えている。安全管理面に関しては、定期に防災訓練を実施し、非常時の対応を含め防災意識を高め、危機管理を行っている。

基準 7. 学生の募集と受入れ

学生募集に於いて重要な指標である退学率、就職率、資格取得率などこの3指標を常に意識し改善に努めている。入学対象者の進路希望状況を的確に把握するため、首都圏の学校訪問や会場、校内でのガイダンスの結果報告を一元管理しデータベース化する事で教職員全員で共有し、学生募集にあたっては学内全教職員で対応できる体制を整えている。また、入学希望の来校者の状況を時系列で把握するため来校者進捗管理表で管理し、個々の情報を分析して、確実な入学につなげる様フォロー体制が敷かれている。また、来校者からは事後アンケート調査を実施し、改善点を抽出して今後の学生募集活動につなげている。時代のニーズに即応する為、ソーシャルネットワークサービスの活用を強化しているが、情報の発信に関しては、個人情報も含め十分に慎重に管理し、適切な情報発信に注力している。

基準 8. 財務

事業活動収支は、学生納付金だけでは黒字化せず、現状は資産運用に頼っている。経費は適切に管理され圧縮されている。人件費も抑制状態を保っているが、今後学生数の増加や優秀な人材の確保を目指す場合、人件費の増加は否めない。入学定員不足状態が恒常的に続いているが、早期に学生納付金のみで黒字化するよう学生募集に注力する。

基準 9. 法令等の遵守

幹部会議、教職員全体会議、教員会議にて法令の遵守に関しては啓蒙活動を行っている。学生に関しては、警視庁、東京都、千代田区と連携し、研修会の開催や冊子の配布など法令違反を未然に防ぐ対策が実施されている。また、幹部会議に於いて未整備の学内規定に関して議論され適切な規定が制定され運用されている。

基準 10. 社会貢献・地域貢献

千代田区生活環境条例に基づき学園全体で千代田区一斉清掃に取り組み近隣の環境美化に貢献している。また、当日をドレスコード登校日に設定し、近隣住民や近隣企業の従業員に対して環境美化の重要性をPRしている。また、ミシンLabo桜丘を開設し、ミシンなど服飾関係の設備を開放し、物造りの楽しさや、洋服のリメイク、リサイクルに対する地域貢献活動を行っている。学年末に於いては、学生作品展とし学生の成果物を展示し、学校を開放する事により、地域の文化交流の拠点として活用されている。